

平成27年度第3回八幡地域協議会会議録（HP版）

日 時 平成27年10月28日（水）午後2時～午後3時23分

場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室

出席者（13名）

1号委員 佐藤成亮 池田満好 遠田秀明 石川正志 島井里美
本多秀之 荒生栄治 小松久美子 佐藤康晴
2号委員 後藤純子 高橋知美 長谷川明子 阿部喜至夫
欠席委員 小松幸雄

企画振興部 地域振興調整監 永田斉、政策推進課主査 松永隆、政策推進課主査 齋藤正人
政策推進課主事 佐藤陽介

八幡総合支所：支所長（兼）地域振興課長 後藤啓、建設産業課長 本間優子
地域振興課長補佐 荒川敏男
建設産業課長補佐 後藤明広、建設産業課長補佐 土田正人
地域振興課長補佐 村上秀俊、地域振興課主査 鳴瀬勉

傍聴者： 1名

議事日程

～過疎地域自立促進市町村計画（過疎計画）の策定について、他～

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協 議
- 5 その他
- 6 閉 会

【協議の概略及びその結果】

本協議会は過疎地域自立促進市町村計画（過疎計画）の策定及び新市建設計画の変更（計画期間延長）についての説明を主とした会議の場となった。

- 1 開 会

○小松副会長 本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。これより、第3回目の地域協議会を開催します。都合により欠席の委員は、小松幸雄委員の1名です。

会議次第に従いまして、荒生会長からのあいさつをお願いします。

2 会長あいさつ

○荒生会長 皆さん、何かとお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。
今日も忌憚のない活発なご意見をお願い出来ればと思います。どうぞよろしくお願ひします。

3 会議録署名委員の指名

○小松副会長 会議に入る前に、会議録署名委員の指名を行います。番号順ということになっていますので、今回は、3番の池田満好委員をお願いしたいと思います。池田委員、よろしくお願ひします。

○池田満好委員 わかりました。

4 協議

○小松副会長 それでは早速協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

○荒生議長 それでは、最初に次第4の協議に入りますが、概ね、1時間ぐらいの意見交換、と考えておりますので、ご協力願ひします。それでは、最初に協議事項の(1)「過疎地域自立促進市町村計画(過疎計画)の策定について」、事務局よりお願ひします。

○永田調整監

～資料1 現行過疎計画(平成22～27年度)進捗状況確認表について説明～

- ・過疎法が5年間延長されたことに基づき、本市も5年間延長した過疎計画を策定するもの
- ・5年間の延長を基本とし、計画全体の形は現行計画を引き継ぐものだが、時代に合わなくなった表等の修正や盛り込む事業の見直しを合わせて行うもの
- ・見直しに際しては、地域協議会の皆様から意見を伺い参考にさせていただく
- ・あくまで原案であり、これで確定の案ではなく、今後地域協議会等の意見をいただいて、追加、修正を行っていきたい。
- ・「完了」は、事業完了により次期計画には搭載しないもの

- ・「継続」は、事業を継続していくもので、次期計画にも引き続き搭載するもの
- ・「未着手」は、何らかの事情で現計画期間内に着手できなかったもので、その事情により次期計画への搭載を検討するもの
- ・この後、本日いただいたご意見を反映できるものは反映し、計画の全体案を作成する。それを次回の地域協議会（12月中旬を予定）でお示しして、再度ご確認いただく。
- ・その後、山形県との協議を経て、3月議会で議決を得て計画が確定する。
- ・資料に対する質問でも構わないが、皆様からは八幡地域の振興のために、これが欠けているのではないかという視点でご意見をいただければ幸い。（何でも良いので忌憚のない意見を）

○後藤支所長

～資料2 次期（平成28～32年度）過疎計画に新たに盛り込む事業一覧について説明～
（八幡統合保育園整備事業）

- ・市条保育園と八幡保育園の統合による施設整備である。
- ・当初の統合予定（平成29年度）→園児数等の関係で平成30年度になった。
- ・整備内容は増築ではなく施設の内部改修となる。

（遊休施設活用事業）

- ・大沢、日向コミセンの2階部分の有効活用を目的
- ・大沢コミセンの2階については民具置き場として使用しているが、日向コミセンについては従来から福祉や合宿所等といった様々な意見があり今後検討して行きたい。

○本間建設産業課長

～資料1 現行過疎計画（平成22年度～27年度）進捗状況確認表及び

資料2 次期（平成28～32年度）過疎計画に新たに盛り込む事業一覧について説明～

【取りやめ分】

- ・「北青沢・家ノ前線 流雪溝整備事業」→川の水量不足により見送り。
- ・「公共及び特定環境保全公共下水道整備事業」→現在、宅地造成の計画がないため、次期計画には載せない。

【新規事業分】

- ・「農地整備事業（日向中部地区）」→新出・下黒川・赤剥のほ場整備。
- ・「地域用水環境整備事業（日向川地区）」→日向川土地改良区が事業主体となり県営の発電施設を整備（福山地区）。

- ・「下黒川東線改良舗装事業」→集落内道路の道路幅の改良。
- ・「新出升田線改良舗装事業」→南麓大橋を渡り泥沢に行く途中のビン坂という急な坂道の手前を拡幅。
- ・「林道大蕨赤剥線改良整備事業」→崩落したままの現地を一部拡幅して整備。

○**荒生議長** ただ今の説明を聞いてのご意見ご質問などございましたらお願いします。

○**高橋知美委員** 計画書を拝見したが、地域の子も達が活動出来る施設が八幡にない。例えば遊佐町には体育館の周辺にアスレチックなどの遊べる場所や図書館もあるし学童保育所もある。雨天時や悪天候の時に自由に遊べて集まれる場所がほしい。

○**永田調整監** 酒田市全体の意見として子育て支援課で受けていると思われる。地域の意見として頂戴して担当課に落として検討させるようにしたい。ここで回答できる件はお答えしたいが、皆さんの意見をどういう形で盛り込めるか検討させていただきたい。

○**池田満好委員** 林道の大蕨赤剥線については地域からも強い要望があったものであり、着手していただけるということで感謝したい。それから、観音寺の自治会長会からの要望だが、8月23日の亡利の山での戦没者慰霊祭は、以前は非常に賑わっていた。現在、八幡地域の8人の僧侶が来て供養されているが、その運営は、全て、とば木の販売のみで運営されている。以前は700本位の販売だったが現在は参列者も高齢となって少なくなり400本を切っていて運営費もきつくなっているのが現状だ。また、年配の方々の下に車を置いて、現地まで歩くのは坂道を上って、最後に急な階段もあり、足が不自由な人もいて困難になっている状況である。上の現地の近くまで車で行けるように、現在、荒れた雑種地になっている土地を車がおける駐車場スペースにしてもらえたらとの観音寺の自治会長会での要望であった。是非、検討していただければありがたい。

○**永田調整監** 持ち帰って、どのようなことが出来るのか相談したい。

○**阿部喜至夫委員** 資料2の基盤整備事業の関係で、住民の要望があってから事業にとりかかるまでタイムラグがある訳で、要望に変化が発生することも考えられる。せっかく基盤整備を行っても結果は耕作放棄地になったではいけない訳であり、住民の要望に変化はないのか。

- 本間建設産業課長 どちらかといえば新しい要望が多く、今やらないと出来ないだろうといった意識を持って地元の人が向かっている。ただ事業実施まで期間が長くなると考え方が変わる人も出てくることは否定できない。
- 阿部喜至夫委員 当然、農業者自身の負担になるのか。
- 本間建設産業課長 現在の圃場整備は、以前と比べて自己負担は軽くなってきている。
- 佐藤康晴委員 この過疎計画は平成 32 年度までの期限付きだが、事業が 32 年度まで終わらない場合も考えられる。そのような場合はどうなるのか。
- 永田調整監 過疎計画は 5 年間でやることを前提に、やれるものを計画に上げて具体化して行こうとしているものである。一方で何らかの事情で未着手といったケースも考えられ 32 年度で終わらない事業も出てくるかも知れない。
- 後藤純子委員 荒瀬川の舞鶴橋付近の下流で八幡町の頃は夏に魚つかみなどをやっていた。その頃は川もきれいで土砂もなかったが、現在は土砂が堆積して川幅の 7 割位は埋まっていて増水した場合も心配である。対処できないか。
- 本間建設産業課長 荒瀬川については二級河川ということで管理が県になっている。同じような要望があちこちから出ており、浚渫の要望等を出しているが、採択になるのが県内で年に数ヶ所というのが実態である。今後も引き続き要望はして行くがそのような状況である。
- 石川正志委員 資料 1 の「やわた産業まつり補助事業」の件で、自分自身この 10 年位、毎年参加しているが、残念ながら年々寂しくなっている。以前は真室川からも来てくれて、なめことかしいたけなどを販売してくれて地域的な交流もあった。事業の主体がどこなのか良く見えない部分もあり、市のほうでもお金を出すだけでなく、そういった地元の意見を聞くことが大切である。
- 本間建設産業課長 産業まつりについては、事務局は商工会である。実行委員会を作って当然、支所の職員も入っており、他に農協・森林組合・観光物産実行委員会等も入って協議をしている。言われたとおり、年々出店数が減ってきているのが寂しくなった原因だが、賑わいをどうやって作っていくのかは毎年検討をしており、今年は自衛隊の車両展示を行った。また、従来、テントの設置は専門業者で行っていたが、今年は地元の建設業組合の青年部からやっていただき、地元の結束にもつながったのかなと思われる。アイディア等があればどんどん意見を出していただき反映させて行ければと思う。

○荒生議長 荒町山根線改良舗装の件は、どのような工事になるのか。

○本間建設産業課長 今年度、現地調査を予定しており実際に工事にかかるのが来年度となる。現場調査をして拡幅が必要とされる場合、地元と相談しながら進めていきたい。

○荒生議長 次に協議の（２）、新市建設計画の変更（計画期間延長）について事務局より説明願います。

○永田調整監

～資料３ 新市建設計画新旧対照表について説明～

- ・新市建設計画の変更については、酒田市地域協議会設置条例の規程で委員の皆様に諮問をして答申をいただくことになっている。
- ・今後のスケジュールとして、県と事前協議を行い、協議の内容が整ったものを次回の協議会で諮問させていただきたい。答申をいただいた後、県との本協議を経た上で来年の３月定例会市議会に提案をして議決をいただいて関係官庁に送付という流れになる。

○荒生議長 ただ今の説明を聞いてのご意見ご質問などございましたらお願いします。面積の変更があるが測定が違っていたということか。

○永田調整監 毎年、国土地理院で調査面積を出しているが、測定の制度が変わったりして変更になる場合がある。酒田市の場合は港の埋め立ての関係で面積が増えている。平成 26 年に国土地理院で出した数字に修正させていただきたい。

○佐藤成亮委員 自分自身、自治会長をやってきた経過から地元のコミュニティ振興会からの推薦でこの場に出席しているが、このような資料は自分で持っていて良いのか。また、この会議の内容はコミセン等に伝える必要があるか。

○後藤支所長 資料は自分で保管して良い。会議の内容については毎回、地域協議会だよりということで全戸配布して住民にお知らせしている。資料等についてわからない点などがあれば地域振興課に連絡してもらい担当から説明してもらうことも出来る。

○佐藤康晴委員 地域協議会で過疎計画の答申を取るということだが、果たして我々の立場で答申をして良いのか、自治会といった大きな組織もある訳なので、合併して 10 年も経っておりこの協議会のあり方も考えても良いのではといった声も他から聞こえる。そのような点は市としてはどのように考えているのか。

○永田調整監 この地域協議会は合併特例法の中で審議機関として正式に意見を言えるような組織の位置付けである。その主旨をのっとった地域の意見を頂戴する場合は必要だということで作られたのがこの協議会である。従って、その関係で新市建設計画の進捗状況とか変更については地域の皆さんのご意見を頂戴しなければならない形になっている。この地域協議会のあり方についてもご意見が出ている地域があるが、それは率直にこの中でご意見を交わしていただき、その結果を庁内でも検討して行きたい。皆さんのそれぞれの団体や地域の意見を頂戴して市政に反映させられればと思われる。

○荒生議長 実際このような資料を見ると専門知識が必要なものもあり、果たして質問して良いものか悩む場合もあるし、説明を聞いてみると「なるほどな」と思う時もある。

○島井里美委員 子供の遊ぶ施設等は実現させていただきたい。地域ごとに遊ぶということがなくなっている。学校以外に1箇所ですべての人が遊べる場所がなく、子供同士の交流が学校だけになっていて、将来的に地元・地域というものが薄れてしまうのではないかと。あと、一條地区で行っている保育園や地域の小さい子供を対象にした「子育て応援団」の活動に市からもある程度、援助があると聞いた。今後、学校の統合があった場合、ますます地域の活動は大切になってくる訳であり、市の援助も期限があると聞いたので出来れば継続して活動を支援していただきたい。

○小松久美子副会長 八幡病院は、行くたびに廃れていくようで、自分の老後は市の中心部の医療機関まで通わなければならないのかと思う時がある。現在、自分の家族はあまり八幡病院には通わないが、子供が急に熱を出したとかおばあちゃんの具合が悪くなったとかで自分ですぐに運べる場所という点で八幡病院は貴重な存在である。一方、真室川の町立病院は充実していて、診療科も様々有り、夜間の受付体制もしっかりしている。八幡病院は日本海病院や酒田医療センターの絡みもあるが、地元の病院ということで大事にしていきたい。それと、八幡病院の職員は、「自分たちの病院をどのように守って行くか」というような意気込みが感じられないのが残念だ。また、新市建設計画の中にも八幡病院の存在をアピールするものがほしいと思う。

○荒生議長 八幡病院が診療所になるといった情報を聞いたが、それは事実か。

○永田調整監 八幡病院の活用については庁内でも議論をしている。健康課が主管課であり検討をしているが、その内容について少しずつ地域の皆さんに説明が入っていくものと思われる。担当課より近々説明の予定であり、それを聞いて色々なご意見をいただきたい。

○高橋知美委員 この新市建設計画を見るとハード面が多いが、ソフト面が充実しないと建

物も宝の持ち腐れになってしまう。例えば今の八幡病院の件だと、インフルエンザの予防接種が旧酒田市だと 2,800 円位で出来るのが、八幡病院では 4,300 円かかると言われればもちろん旧酒田市で受けることになる。そうなると地域の病院をもっと活用しようと言われても、使いづらい状態になっている。他の市町村ではインフルエンザの予防接種が高齢者や幼児は低額のところもあり、ソフト面として八幡病院を活用しやすくするように整備されることを望みたい。あと、学童保育所整備事業を酒田の全域でやっていると思うが、旧市には学童保育連盟があり八幡は保護者が運営している。その運営の差が大きい。旧市は連盟なので多方面の人が関わって有効な運営が出来るが、八幡は保護者がやっており、仕事を持っている人にとっては負担が大きい。保護者が動いて働きかけないと行政は動いてくれないのでは学童保育所自体が運営しづらくなっている。行政でもタテヨコの継がりをもっと取ってもらい、地域の宝である子供の環境整備のソフト面を強化していただきたい。また、小学校で自然教室を旅行村でやっているが、運営を NPO やボランティアにお願いしている状況であり、仕事を持ちながらも子供達に自然を知ってもらおうとやっているが、ある程度、限りがある活動になってしまっている。そういった人たちをうまく活用できるようなソフト面の強化を望みたい。

○永田調整監 過疎計画はソフト面を活用出来る制度である。ソフト面は今の学童保育所の件でもそうだが、関係者への支援といった行政との話し合いが出来るような体制が望ましい。なお、学童保育連盟の件も良い方向に迎えるように関係課に相談したい。

○高橋知美委員 学童保育所関係の情報や協議をしていることも知らない人が多いので、個別に通知出来る方法を考えていただきたい。

○永田調整監 協議の過程がわかるように対応したい。

○本多秀之委員 新市建設計画では是非基本的な方向性は保っていただきたい。5年間で延長される訳なので、私達市民の生活が少しでも良くなるように計画の見直しを進めてもらえればと思う。そのためにも、地域の意見を出来るだけこの場に出せるようにお手伝いしたいが、この過疎計画はほとんどの住民が知らない訳で、どのようにしたら住民の意見を拾うができるのか、周知することは出来ないのかと思われた。一方、この資料を拝見して、しっかり検討をして取り組まれていることは見て取れた。情報をいかに住民の皆さんに提供していただけるのかということと、この協議会をどう活かしていくのかということを感じる。5年の延長期間、市役所の皆さんにはしっかり頑張ってください。

○永田調整監 個別の事業実施にあたっては、地域の皆さんと意見交換をしたい。また、直接、支所や担当課に要望をいただいたりして、過疎計画の事業が積み上がっている場合もある。皆さんには校いっただ全体像でお示ししているが細かい所では色々なやりとりを重ねながら事業を進めている。

○長谷川明子委員 計画から35年かかっている安田バイパスの進捗状況をお聞きしたい。

○本間建設産業課長 国道344号の安田バイパスについては、地権者との関係で長々となっていたが、今年の夏に地元の人たちと一緒に図面を見るところまで来た。今後、地盤調査等の調査に入っていくところである。

○遠田秀明委員 農地水の水路の関係で、河川が崩れていたりしている箇所がある。

○本間建設産業課長 図面と現地を見ない限り、管轄がどこかわからない。

○遠田秀明委員 総延長11kmの大沢地区の河川工事を5年間で完了の予定だが、工事が終わってから改修をしなければならない場合、農地水でやるべきものなのか。

○本間建設産業課長 農地水でやったということは、地元の方々が持っている水路ということであり、土地改良区や市でやるものでない位置付けになる。

○佐藤康晴委員 直接、八幡に関連しないが、酒田の国道7号線には道の駅が無い。そうすると単なる通過点であり、車を止めて酒田の情報を得る機会も少ないところである。情報の発信源としての一つの方法であり、地域の産物の紹介も出来るものであり、酒田市全体としての道の駅構想を是非検討していただきたい。

○池田満好委員 鳥海山・飛島ジオパークの件で、間もなくジオパークの認定を目指すということであるが、現状ではジオパークを知らない人がほとんどであり唐突な感じがする。「ジオパークとはこういうもので酒田市にとってはこういうメリットがありますよ」といった最初の説明をして住民に周知してから、取り組む必要があるかと思われる。なお、今回の資料をいただき、自治会長として地域の皆さんにも説明することが出来るため感謝を申し上げる。

5 その他

○荒生議長 それではこの辺で協議のほうは閉めたいと思います。5のその他ということで委員・事務局の皆さんから何かご発言があればお願いします。

○本間建設産業課長 ～福祉乗合バス（ぐるっとバス）の更新について報告～

- ・定員14名（車イスの搭乗は出来ない）で12月より導入予定。
- ・酒田市の文字をけずり「ぐるっと」の文字を強調したい。
- ・現在の走っているバスの中にチラシを貼って周知させたい。
- ・日向と大沢地区を走る一部のバスがこの車両となる。

6 閉会

○**荒生議長** 予定の時間を過ぎましたので今日の地域協議会を終了したいと思います。今日は、活発な意見をいただきありがとうございます。閉会を副会長お願いします。

○**小松副会長** それではこれもちまして、第3回目の地域協議会を閉会いたします。次回も活発な意見が出るようにご協力よろしく申し上げます。委員の皆さん、事務局の皆さんご苦労様でした。

以上